

今日もたべた？本ごはん

とうごうしょうがっこう 東郷小学校 としょかん 図書館だより へいせい ねんど 平成24年度 がっこう 10月号

めざせ100さつ!



そら ふか す 空は深く澄みわたり

夏の猛暑がようやく過ぎ、朝夕肌寒く感じるようになりましたね。すがすがしく

澄みわたる秋の空、空気が乾燥し、昼間の景色はもちろんのこと月や星までもがは

っきり見えてきます。「秋澄む」「水澄む」は秋の季語としてよく使われますが、「澄

む」の語感が秋のさわやかさを表していますね。

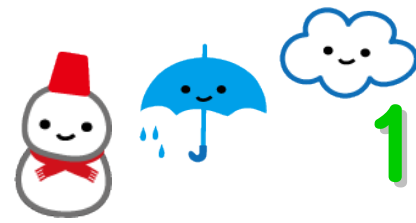
暑い中がんばって練習した運動会も終わり、いよいよ秋本番。10月は“校内

読書月間”です。今年はブックリストの本を5さつ読み終えた人から順に、ひ

とり1枚“しおり”をプレゼントします。楽しみにしててくださいね。

中山の休日『おかあさんがおかあさんになった日』のなぞ!?

夏休みの話になりますが、8月19日に始良郡湧水町のりの図書館で、絵本作家長野ヒデ子さんの講演会がありました。長野ヒデ子さんといえば、『おかあさんがおかあさんになった日』や「せとうちたいこさん」シリーズでよく知られていますね。絵本の読みきかせや紙芝居の実演をまじえながら、ひとつひとつの絵本に込めた思いやエピソード、絵本づくりの裏話など、興味深いお話をたくさん聞くことができ、とても楽し



うた 10月の詩

こゑに出して読むと
なんかおもしろい!

雨だった日の
ざんざんか

雨になる日の
ざんざんか

雲だった日の
ゆうゆうを

雲になる日の
ゆうゆうを

海だった日の
びょうびょうを

海になる日の
びょうびょうを

川は
はしりながら

水は
うたいます

まど・みちお

水は
うたいます

水である自分の
えいえんを

川であるいまの
どんどこを

川を
はしりながら

水は
うたいます

雪や氷だった日の
こんこんこんを

雪や氷になる日の
こんこんこんを

雪や氷になる日の
こんこんこんを

虹だった日の
やっほーを

虹になる日の
やっほーを

The 読書月間

よんでみて!

今年もいろいろなお楽しみがあります!

- ・本の貸し出し...毎日2さつ
- ・ブックリスト
- ・読書クイズ
- ・読書郵便
- ・先生たちの読みきかせ ... など

10/18 (木) は
薩摩川内元気塾に
作家の植村紀子さん
をおよびします!



いひとときでした。なかでも、私が一番印象に残ったのは『おかあさんがおかあさんになった日』のお話。この絵本は、おかあさんが期待と不安のなか、はじめて赤ちゃんを生んだ日をえがいたものですが、この絵本、子どもたちが大好きなんだそうです! 何度もくり返し読んでもらいたがる子どもが多いそうで、不思議に思った長野さんは、専門家の先生にその理由をたずねてみたそうです。すると... (裏面へつづく)

10月 おすすめの本

ほん



子どもは自分が生まれたときの話が好き?!

子どもは自分が生まれたときの話が好きなんだそうです。自分がどんなに望まれて生まれてきたのか、どんなにみんなが楽しみに待っていたのか、無条件に愛されているというよこびを感じることができる、『おかあさんがおかあさんになった日』が大好きなんだそうです。子どもはこの絵本に自分が生まれてきたときもこうだったんだろうな、という思いを重ねているんでしょうね。

今月は親子で読んでほしい、「赤ちゃん」にまつわる本を選んでみました。本を読んだあとに、「あなたが生まれたときはね…」というお話もしてみてください。親子読書におすすめです♪図書室には『おとうさんがおとうさんになった日』があります。

よんでみて!



1きつめ!

あなたがこの世に生まれてくるまでの9ヶ月間のおはなし

『あなたが生まれるまで』

ジェニファー・デイビス 作 ローラ・コーネル 絵 小学館



赤ちゃんがこの世に生まれてくるまでの9ヶ月間、ママと赤ちゃんはずっといっしょでした。ママのお腹の中で赤ちゃんはどんなふうに大きくなっていくのかな?そして、ママのからだはどんなふうに変わっていくのかな?親子で楽しめるコミュニティ絵本です♪

2きつめ!

赤ちゃんがうまれてくる、家族のよろこびが伝わる。

『あかちゃんのゆりかご』

レベッカ・ボンド 作 さくまゆみこ 訳 偕成社



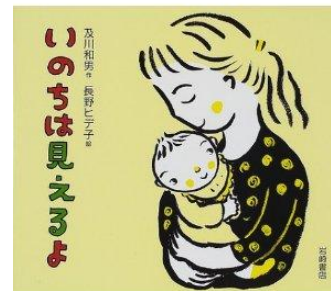
生まれてくる赤ちゃんのために、お父さんがゆりかごを作りました。おじいちゃんがペンキをぬり、おばあちゃんがベッドカバーをぬい…。家族がそれぞれに作業をしてようやく完成!あたたかい画風でゆったりとした時間と家族の愛情をえがいたアメリカの絵本。

3きつめ!

『見えるよ。いのちは見えるよ』

『いのちは見えるよ』

及川和男 作 長野ヒデ子 絵 岩崎書店



ルミさんは全盲で盲学校の先生です。その出産に立ち会ったおとなりのエリちゃんはルミさんの「いのちは見えるよ」ということばが、心にいつまでも残ります。やがて、ルミさんはエリちゃんの学校にまねかれ、みんなは赤ちゃんをだっこさせてもらって一。全盲のお母さんの出産と一生懸命な子育てをえがき、「いのち」について対話しあえる絵本。

4きつめ!

はじめて赤ちゃんをだっこした、小さなおにいちゃんは…

『ザザのちいさいおとうと』

ルーシー・カズンズ 作 五味太郎 訳 偕成社



しまうま坊やザザのうちに赤ちゃんが生まれます。それからママもパパも赤ちゃんのお世話に忙しくて、ザザはなかなか遊んでもらえません。赤ちゃんを見にきた親せきの人たちも、みんな赤ちゃんのことばかり話します。さみしい思いをするザザ…。そんなとき、ママから「あなたが赤ちゃんをだっこしてあげればいいのに」といわれ、ザザははじめて赤ちゃんをだっこします。すると――。

5きつめ!

おへそのひみつ、おしえます。

『おへそのひみつ』

やぎゅうげんいちろう 作 福音館書店



「おへそ」って何だろう?おへそはお腹のおまけなのかな?おへそにさわるとお腹が痛くなるのかな?おへそにはひもがついていたのかな?考えるほど、おへその不思議は深まるばかり…。おへその役目と母から子へ受けつがれる生命のすばらしさをゆかいにあなたに伝えます。